

# 青森県立中央病院将来構想の概要

## 青森県立中央病院将来構想の策定趣旨

- 県が策定した地域医療構想では地域医療の質的・量的転換が求められており、構想に示された役割・機能に適切に対応していくことが必要。
- 病院院舎は築37年以上経過し老朽化とともに、建設当時の想定を超えた医療技術の進歩などにより、高度化・多様化する医療ニーズへの対応が困難となりつつあり、建て替え等を含めた院舎のあり方についての検討が必要。
- 地域医療構想を推進していくために必要な医療機能等を備えた病院として目指す姿を将来構想としてまとめるもの。

## 青森県立中央病院に求められる役割・機能

- ① 地域医療構想で示された病院機能の確保  
高度急性期及び急性期を担う地域中核病院機能の確立、政策医療の更なる深化、医師確保に寄与し得る診療機能の高度化
- ② 全県域を対象とした地域医療やへき地医療の支援  
地域医療連携の深化、人材育成と人材派遣の充実、医療・介護連携体制の構築
- ③ 再編・ネットワーク化の検討  
青森地域内の中核病院機能を具体化する上で構想区域における自治体病院等の再編・ネットワーク化についての検討が必要

## 青森県立中央病院の課題

### (1) 医療面

- ① 人材の確保・育成  
高度・専門医療の提供に必要な医師等の確保、チーム医療を行うために必要なメディカルスタッフの育成
- ② 平均在院日数の更なる短縮  
回復期病院、介護施設等とのさらなる連携強化が必要

### (2) 施設面

- ① 院舎の老朽化  
設備の改修費用が増加傾向、制度変更や医療ニーズ対応のため増改築を重ねたことによる動線の複雑化
- ② プライバシー・アメニティの向上  
患者さんが安全かつ快適に過ごすため病室などの環境改善

### (3) 経営面

- ① 収益の確保  
麻酔科医の確保による手術件数増加、各種加算の取得
- ② 費用の抑制  
後発医薬品への切替などによる材料費縮減、適正な人員管理

# 青森県立中央病院将来構想の概要

## 地域医療構想を踏まえた今後の病院の目指す姿

(1) 県全域を対象とした急性期医療、専門医療、政策医療の提供	① 各診療センターにおける機能の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がんセンター: 集学的治療の充実、先端医療への参画(遺伝子医療等)、緩和ケア体制強化</li> <li>○循環器センター: HV手術の運用、回復期病院との連携強化(リハ)、教育活動の展開</li> <li>○脳神経センター: 脳卒中急性期治療の充実、認知症疾患医療センター取得</li> <li>○糖尿病センター: 重篤患者への治療体制強化、介護施設との連携強化、栄養管理指導の充実</li> <li>○救命救急センター: 重症患者受入体制充実、看取りに関する介護施設等との連携体制構築</li> <li>○総合周産期母子医療センター: MFICUとNICUの効果的運用、教育体制の整備、育児支援体制充実</li> </ul>
	② 災害医療等の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害医療対策: BCP策定による災害対応能力の向上、災害医療人材の育成</li> <li>○感染症対策: 感染症科医の育成・確保、実働訓練や研修会の開催による感染対策の強化</li> </ul>
	③ 急性期医療の提供に必要な診療機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○手術: 麻酔科医の確保・増員、最新の手術への対応</li> <li>○急性期リハビリ: 病棟リハビリの充実、専任のリハビリテーション医の確保</li> <li>○精神救急: 精神・身体合併症患者に対応するための精神医療体制の整備</li> </ul>
	④ 連携情報管理部門の充実	○連携管理業務の集約化、関係機関との連携体制強化
(2) 人材の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種臨床研修プログラムの充実、認定・専門看護師や特定行為看護師などの人材の確保・育成</li> <li>○地域の看護師や医療技術員を対象とした高度専門医療に関する研修や実習の受入れ</li> </ul>	
(3) 地域医療・へき地医療の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医師派遣の拡大、総合診療医育成のためのネットワーク構築</li> <li>○ICTを活用した医療機関等との連携ネットワーク構築(遠隔診療等)</li> </ul>	
(4) 良質で安全な医療サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○患者満足度調査などを用いた医療の質の管理・向上策の検討</li> <li>○プライバシー・アメニティに配慮した療養環境の向上</li> </ul>	
(5) 経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種加算の取得などによる収益性の向上、後発医薬品への切替などによる各種費用の効率的な執行</li> <li>○経営担当職員の育成などによる病院マネジメント機能の強化</li> </ul>	

全国レベルの急性期・専門・政策医療に係る病院機能の拠点

## 目指す姿実現に向けて

### (1) 急性期医療、専門医療、政策医療機能の拠点整備

地域医療構想に基づき、医療提供体制の確保を図る上で、地域の医療機関等との統合・再編も視野に入れつつ、回復期や慢性期機能の病院と連携した、急性期医療、専門医療、政策医療に係る病院機能の拠点整備を図ることが必要。

青森県立中央病院が拠点としての病院機能を将来にわたって発揮することは現状のままでは難しいことから、地域医療構想で求められる病院機能や医療ニーズに対応し、持続可能な医療を提供していくため、建て替え等を含めた具体的な対応策の検討を進めていく必要がある。

### (2) 持続可能な病院経営体制の構築

厳しい経営環境が予想される中で、病院機能を充実していくためには、収益性の向上や各種費用の効率的な執行のほか、高度な経営マネジメント能力を備えた人材の確保など病院経営の安定化に向けた取組を着実に進めていく必要がある。

### (3) 連携・ネットワーク強化のための体制づくり

将来構想を進めていくための医療機関、介護、福祉事業者等との連携・協力体制の構築に向けて、地域医療連携推進法人の設置や、医療機関等との統合・再編なども視野に入れ、幅広く検討していく。